

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

事業名 大学評価実施費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 事務局教務課 電話番号：0584-75-6600 (内 8223)

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,700 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,700	0	0	0	0	0	0	0	2,700
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成 16 年以降、すべての大学は、7 年に 1 度、文部科学大臣が認めた機関による認証評価を受けることが法的に義務付けられ、本学は、平成 19 年度、平成 26 年度に、(財) 大学基準協会による認証評価を受けた。

→令和 3 年度が認証評価の周期 (7 年目) に該当することから、当該年度に新たに認証評価を受ける必要がある。

(2) 事業内容

本学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表し、併せて、法令の規定に基づき、文部科学大臣の認証を受けた機関から認証評価を受ける。

本学は、平成 19 年度の認証評価及び平成 26 年度の認証評価を、大学基準協会を受けており、同協会の正会員となっていることから、継続して「(公財) 大学基準協会」の認証評価を受けるものとする。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	50	評価事務手続き調整（東京都ほか）
需用費	52	消耗品
役務費	2,598	評価手数料（一大学：2,000千円＋一研究科：350千円）×税 郵送料
合計	2,700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・ 次回評価は令和10年度

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和3年度に、大学評価において大学基準に「適合」との判定を受け、令和4年度以降の大学運営を円滑に推進していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
大学評価	適合 (H26)	保留 (H19)	適合 (H22)	適合 (R2)	適合 (R3)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令の規定により、大学は、7年に一度、認証評価機関による評価を受ける必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 本学の自己点検・評価を踏まえた学校運営、教育研究等に関する有効なチェック機能を働かせる必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大学評価の結果を踏まえ、改善すべき項目については、早急な対策を検討するとともに、評価が得られた部分についてはさらに取り組みを強化していく
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】